

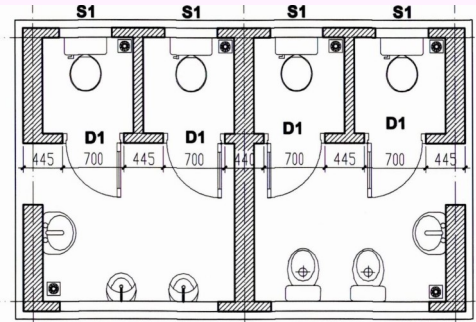
CSRスクエア熱量MAX隊支援、小学校トイレの完成

祝

昨年10月に、取組みがスタートしたLINEによる支援グループ「CSRスクエア熱量MAX隊」が中心となったベトナム北部、トゥエン・クアン省ラム・ビン郡ヒエン・モー社フック・イエン小学校のトイレ支援プロジェクトですが、47人の支援者と6団体の協賛を得て、2月に建設がスタートする予定でした。

しかし、進捗がスムーズとは言えない状況がありました。それは、現地でのコロナ蔓延による物価の高騰と原材料の不足、さらには、予想外の為替レートの円安の影響でした。当初の予定では、男女トイレそれぞれに各6個の便器の設計でしたが、予算通りの金額で建設するには設計を変更し規模を小さくする以外には方法がありませんでした。

幸いこの学校には、既設の小さなトイレがひとつありました。それを取り壊さず、修理して一緒に利用すれば、200人弱の児童と先生方が利用するには、なんとか足りそうでした。





一回り小さく変更された設計図




完成の報告と写真が届いたのは、5月13日(金)の正午近く。明日が総会という前日に届いた朗報でした。前に送ってあったバナー(横看板)を印刷し、子どもたちに持たせて撮影された写真の子どもたちの笑顔が眩しい写真です。トイレの裏側には、水を流すための高架タンクも写っています。別の写真(下)を見ると、男女のそれぞれの入口には、男女生徒のイラストも描かれています。嬉しい配慮です。総会の事業報告でも発表させていただくことができました。



東南アジア各国のコロナの影響による様々な規制も緩和されはじめ、今年8月には、渡航による現地支援や調査・確認がスタートできそうです。

 フック・イエン小学校トイレ建設支援
ベトナム、トゥエン・クアン省、ラム・ビン郡 

Phuc Yen Primary School Toilet
Lam Binh District, Tuyen Quang Province

Donated By
 **Japanese NGO CSR-Square**
24/May/2022

CSRスクエア熱量MAX隊 & 協賛団体

秋山欣治、河内和宏、高木淳二、村上晴紀、小竹耕平、真鍋秀則、清水昌也、徳永真、小牧雅美、石原佳代子、山本禎、太田光紀、吉野佑、梅津多美子、本多真道、清水誠、徳永佐智代、比留川学、松本牧子、横富久也、高見澤浩介、中込志津子、中山敏夫、小野愛里、永富雪子、小林曜、野口貴裕、野口結叶、野口楓斗、摩地美知、今井清香、高野康子、加藤地次、加藤惠美子、深津孝、正久真也、平沼京子、仁科純一、妹尾由香、小林みゆき、吾妻隆一、山下浩史、石井真弓、山本佳子、岸川恭子、高山京子、齊藤由美、SIA社会投資家有志一同、八潮市倫理法人会有志一同、吉川・松伏倫理法人会有志一同、越谷市倫理法人会有志一同、アース・フレンドシップ・フェスティバル、ハビット・チェンジ・アカデミー代表角谷智志

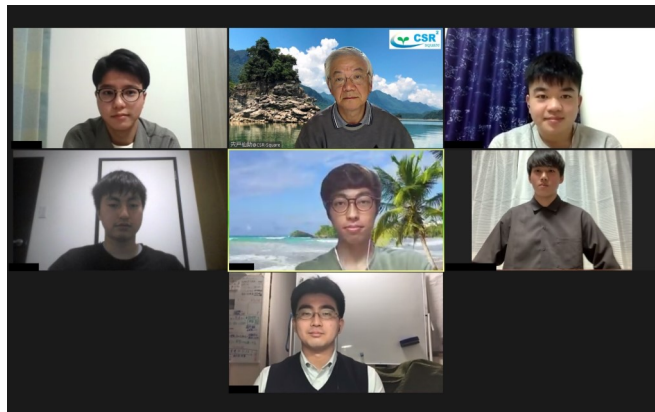
支援いただいた方々のお名前が入った銘板(左)をステンレスB4判の大きさと作り、代表の方と一緒に壁面に取り付けて来ようと計画しています。こうして、日本中の皆様方の善意が形となり報告させていただけることに感謝しております。

若者が集い、ボランティアを目指す 「CSR-Square・Youth」が、正式発足

理事長宍戸が、国内各地での講演活動などをスタートしておよそ10年。日本中で、中学生や高校生で、東南アジアの支援の必要性に気づき目覚めた若者達は、今、すでに大学生などになっています。

その日本中で関心のある大学生などが集まり、シーエスアールスクエアの若者のグループ「CSR-Square-Youth」の設立準備が昨年末から始まっており、今回(5/14)開催の総会で、その設立が正式に承認され、活動がスタートしています。メンバーは、現在、北は北海道大学から南は滋賀大学など11人ほどです。

毎回、全員の参加は難しいのですが、アルバイトの時間などを調整して、ほぼ毎週Zoomによる会議を開催し、東南アジアの山奥でのボランティア活動に向けて話し合いを続けています。ベトナムから来て、日本で学ぶ学生さんなども、数人加わってくれています。意欲と情熱のある若者であれば、だれでも参加できます。身の回りの大学生などをお誘いいただけませんか？



Epson製「プロジェクター」の寄贈 トゥエン・クアン省、ラム・ビン郡の中学校2校へ



鎌倉学園からラン・カン中学校へ



時東あみさんよりフック・ソン中学校へ

現地の中学生とのZoomによる交流を実現できた神奈川県鎌倉学園から一昨年にお預かりさせていただいた寄付金がありました。そのお金で、昨年度の交流の御礼にと、今年1月に、プロジェクターを寄贈させていただきました。

現地へプロジェクターのお金を送金すると、「日本からの支援だから。」と、わざわざ「Epson」の高価な製品を準備してくれました。

また、時東あみさんの「時東あみアジアチャリティープロジェクト」としても、貧しい村の中学校へ学習環境整備支援として、同じEpsonのプロジェクターを今年1月に寄贈できました。

そして、時東あみさんからお預かりして販売させていただいてきた新品の靴やシューズ類は、まだ、残っておりまして。そこで、今年8月の渡航で、残りの150足ほどをダンボール箱に入れて、現地の中学校などにプレゼントして来る予定です。

スーツケース以外に空港の出発ロビーで預けられるのは、原則1箱(三辺合計158cm以内、23kg以内)です。しっかりと分類され梱包され、渡航を待っています。



出前授業・講演会の実績（コロナ禍の中で）

No.	月日	曜	時刻	学校名・団体名	学年	生徒数	教科等	参観者
1	4月8日	木	18:00	大阪市、Earth Friendship Festival チャリティ講演会			講演会	35
2	7月12日	月	13:30	福島市立吾妻中学校PTA講演会			講演会	60
3	7月30日	金	16:00	神奈川県鎌倉学園ベトナム学習会（Zoom）	高1	7	学習会	5
4	8月3日	火	17:00	神奈川県鎌倉学園ベトナム学習会（Zoom）	高1	7	学習会	5
5	8月7日	土	20:00	CSRスクエア熱量Max隊講演会（Zoom）			講演会	15
6	8月21日	土	13:00	開発教育 「SDGs教材づくり実践セミナーin東北&沖縄（Zoom）」			発表	45
7	9月11日	土	10:25	東京都江戸川区立鹿骨東小学校 （保護者：Microsoft-Teams）	小6	64	講演会	50
8	9月22日	水	13:30	福島県いわき市立平第三小学校	小6	84	講演会	5
9	10月16日	土	8:45	東京都江戸川区立平井南小学校（下学年） （保護者：Microsoft-Teams）	小1～3	120	講演会	90
10	10月16日	土	10:05	東京都江戸川区立平井南小学校（上学年） （保護者：Microsoft-Teams）	小4～6	90	講演会	62
11	10月21日	木	13:30	東京都立富士高等学校附属中学校	中3	120	講演会	5
12	10月29日	金	13:15	長野県学校法人茂来学園大日向小学校 （保護者：Zoom）	小1～中2	137	講演会	32
13	11月26日	金	13:35	東京都町田市立南大谷小学校	小6	123	講演会	6
14	12月12日	日	15:00	大阪市、ハビット・チェンジ・アカデミー講演会			講演会	140
15	12月15日	水	14:00	滋賀県立大学人間文化学部生活デザイン学科	大2・3	40	講演会	2
16	1月6日	木	10:00	福島県<学童保育>森合けやきっ子ハウス	小1～6	36	講演会	5
17	1月14日	金	10:30	東京都町田市立南大谷小学校	小6	123	講演会	6
18	1月15日	土	9:10	東京都板橋区立志村第二中学校	中1	87	講演会	5
19	1月16日	日	13:00	東京都新宿・CSRスクエア熱量Max隊講演会（Zoom配信：7名）			講演会	13
20	1月18日	火	13:30	福島県いわき市立植田東中学校	中2	68	講演会	7
21	1月19日	水	10:30	福島県国見町立国見小学校	小6	64	講演会	5
22	1月26日	水	13:00	福島県福島市立北信中学校講演会	中1	227	講演会	10
23	2月25日	金	13:40	東京都目黒区立東根小学校	小6	116	講演会	6

合計 1513 614

今年度も、コロナ禍による影響で、数少ない出前授業・講演会の実施でしたが、その中で、特筆すべきことは、現在建設中のもう一つのフック・ソン小学校のトイレ建設支援に、小学校から高校までの生徒たちが立ち上がり、福島県立福島南高等学校、鎌倉学園、東京都町田市立南大谷小学校、長野県佐久穂町にある茂来学園大日向小学校の子供達が支援に動き出していることです。

福島南高等学校では、国際文化科の生徒さん達を中心となり、使わなくなったクリアファイルを集め、それを福島市内のガス販売を中心として営業している「アポログループ」さんが、企業の社会貢献活動（CSR）の一環として1枚5円で買い取ってくださり、リユース（Reuse）してくださっています。それらの活動は、鎌倉学園も協力しておりその益金が当法人に寄せられています。また、町田市立南大谷小学校では、校地の銀杏の実を拾い集め、綺麗に洗って袋詰めして売り、その益金を寄せてくれています。

また、大日向小学校の子供達は、募金活動などに積極的に取り組み、ラオスへの支援品や交流作品なども、段ボール箱一つ分送ってくれています。子どもたちへのメッセージカードも同封されておりますが、ラオスへの渡航は、まだ、しばらくは難しそうです。



【ラジオ番組「お母さん教室～話の広場～」】

2月1日・8日・15日、ラジオ福島での放送

2017年9月にスタートした理事長・宍戸のラジオ福島での番組放送も、5年間で計31回となりました。

今年2月のテーマは、「福島に縁の深い方々からのメッセージ」が中心でした。海外に住み、海外から見た日本、そして福島について考えたことをもとに、日本に住み、日本で暮らす中学生や多くの方々への新たな気づきをメッセージという形でお伝えしています。

1回目は、ドイツのミュンヘンから。2回目は、インドネシア・バンダラから。3回目は、アメリカ・ロサンゼルスからです。

事務局へ連絡いただければ、録音CDをお送りすることができます。ご連絡をお待ちしております。



2021年10月～2022年3月の正会員、寄付者名（敬称略）

◆正会員◆

北海道 伊藤 孝介
 茨城県 石川 秀樹
 埼玉県 近藤 敏
 同 近藤 洋子
 同 手塚 美幸
 東京都 吾妻 隆一
 同 形山 拓
 同 黒崎 壽文
 同 田澤 友規
 同 森一健太郎
 同 吉野 佑
 同 吉村 康佑
 匿名希望1名
 大阪府 山口 拓也
 兵庫県 谷川 亮
 広島県 山下 浩史
 島根県 妹尾 由香
 福島県 柏 正二
 同 木村 好久
 同 本田 紀生
 同 山田 清美
 匿名希望1名

◆寄付者◆

北海道 山本 禎	東京都 富塚由美子	大阪府 笥 久典
栃木県 柳 文男	同 仁科 純一	同 つきまくり社
埼玉県 石井 眞弓	同 平沼 京子	同 野口 貴裕
同 太田 光紀	同 マイ・アソ・カン	兵庫県 石原佳代子
同 加藤美恵子	同 真鍋 秀則	同 桧垣 拓司
同 永富 雪子	同 南大谷小学校	広島県 今井 清香
同 深津 孝	同 柳 裕之	同 正久 真也
同 山本 佳子	同 吉野 佑	同 山下 浩史
同 越谷市倫理法人会	同 若松姫恵子	島根県 妹尾 由香
同 八潮市倫理法人会	匿名希望2名	同 高瀬 正博
同 吉川・松伏倫理法人会	神奈川県 梅津多美子	福岡県 坂本 武典
千葉県 太田 利彦	同 小野 愛里	同 松本 牧子
同 中込志津子	同 楫 富久也	福島県 岡崎 忠昭
東京都 吾妻 隆一	同 鎌倉学園	同 国見小学校
同 厚地 美知	同 小林 暉	同 齋藤 典子
同 河内 和宏	同 小林みゆき	同 鈴木 教弘
同 木島 良三	同 清水 昌也	同 長原 美香
同 小竹 耕平	同 新村 純一	同 西坂 勲
同 小牧 雅美	同 中山 敏夫	同 林 克重
同 清水 誠	同 比留川 学	同 ハヤシ製作所
同 高見澤浩介	同 松下 伸広	同 福島南高等学校
同 ダニエル・プラス	静岡県 大石 孝裕	同 吉川 哲也
同 葛木 淳二	三重県 村上 晴紀	同 渡辺とし子
同 時東 あみ	長野県 大日向小学校	匿名希望4名
同 徳永佐智代	大阪府 芦田 衛	その他 SIA研修会
同 徳永 真	同 榎原 裕子	不明 三浦 ヨシロ
	同 角谷 智志	



NPO法人 シーエスアールスクエア（CSR²）（輝く学校広場）
Challenge for School Revival & Corporate Social Responsibility

〒960-8136 福島県福島市八島町6-29 TEL 090-2604-4226 FAX 024-533-2612

(ホームページ) <https://csr2.or.jp/>

(facebook) <https://www.facebook.com/Kagayakugakkou>

E-mail: shishido.csr2@gmail.com